

ゼネコンは辺野古の基地工事で儲けるな！

加藤 宣子

私たち「Stop! 辺野古埋め立てキャンペーン」の毎月第3火曜日の新宿セントービル大成建設本社前抗議はこんなコールで始まります。

「大成建設 工事を止めろ 辺野古の工事で 儲けるな」

「大成建設 工事を止めろ 自然を壊して 儲けるな」

「大成建設 工事を止めろ 基地を作って 儲けるな」

「大成建設 工事を止めろ サンゴを壊して 儲けるな」

私たちは、2013年末の仲井真知事の辺野古受け入れを受けて、辺野古の工事を受注するゼネコンを中心とする本土企業に対して抗議をしています。発足した当初は「（政府だけではなく）企業の責任も問うべきだ」と言っていた亡き井上澄夫さんとブログを立ち上げ、沖縄の情報を発信したり、入札・受注情報を監視したり、調査設計を受注した会社に抗議をしました。2014

年12月から仮設工事や汚濁防止膜設置・護岸工事や土砂埋め立て工事など特に中心となって工事を進めてきた大成建設に抗議をはじめ、もう6年が経ちます。

大成建設は、大蔵喜八郎が始めた鉄砲商人にルーツを持ち、台湾出兵での兵站を請け負い、日清・日露戦争、第1次・第2次大戦という戦争の歴史の中で大日本帝国とともに日本各地の基地建設に携わり、大きくなって来ました。終戦後も米軍基地建設に活路を見出し、さらに原発電設などにも関わってきた会社です。また大成建設だけではなく、辺野古新基地建設に携わるのは五洋建設、鹿島建設、大林組などのゼネコンです。呉軍港建設から始まった五洋建設（当時水野組）は海軍の工事を中心に請け負い、鉄道の鹿島組は国策の富国強兵・膨張主義とともに朝鮮半島や満州で鉄道建設を担っています。大林組は『大林組100年史』（社史）で「（大林組の100年は）まさに近代国家へ歩み出した我が国の歴史とともにありました」と書いています。国策と

して進められる辺野古基地建設と二重写しのようです。

名護市辺野古への新基地建設を沖縄防衛局が大成建設に発注したのは2014年6月。7月から大成建設によるコンクリートブロックの設置など仮設工事が始まり、汚濁防止膜が設置された後、2017年4月傾斜堤護岸工事（K-19）が東洋建設らJV（共同事業体）によって始まりました。その後、戸田建設らJVにより、辺野古側の浅瀬の傾斜堤護岸工事（K-1・K-2・K-3・K-4）が進められ、2018年8月に護岸工事が完成しました。12月3工区から大林組らJVによって土砂投入が行なわれ、2019年3月、大成建設・五洋建設らJVによって1工区、安藤・ハザマらJVにより2工区の埋め立てが現在も進められています（詳しくは地図をご覧ください）。しかし、大浦湾側に深度90mの軟弱地盤が見つかり、大浦湾側の工事の受注契約も打ち切りとなり、工事は止まっています。沖縄防衛局は県に対する変更承認申請を出していますが、県は承認をしないでしょう。

私たちは大成建設以外にも、ケーソン工事と土砂埋め立てを請け負う五洋建設、そして土砂埋め立てを最初に始めた大林組の前で、それぞれのゼネコンで働く社員に沖

縄の辺野古新基地建設反対の声を伝えようとチラシを撒きながら抗議をしています。また私たちの税金を使って辺野古の基地を作ることが本土の企業が儲ける構造になっていることを多くの人に知ってもらいたいと、街行く人たちにもチラシを撒いています。チラシ（同封したカラーのものをご覧ください）には、辺野古の工事の全容がわかる地図と、どの企業がどの部分をいくらで受注しているか、工事はどこまで進んでいるのか、軟弱地盤はどこかなど記し詳細が分かるように工夫しています。東京で撒くだけではなく、辺野古のテント村にも送り、全国から訪れる人に説明する際に利用してもらっています。

この企業も口をそろえて「お答えする立場にはない」といいます。でも今年2月に、軟弱地盤の埋め立てのサンドコンパクションパイル工事を行なうであろう不動テトラに行ったときは、社員の一人がぼろっと「90mは未知数です」と答えていました。

辺野古の基地建設は止められる。受注企業が手を引けば。大浦湾の埋め立てが難しいと受注する企業からの声が上がれば。いつもそう思いながら、いつも少人数ですが、辺野古の工事が止まるまで、あきらめずに声を上げ続けた

いと思っています。第2火曜は大林組のある品川駅港南口で、第3火曜は西新宿の大成建設本社前で、第4火曜が五洋建設最寄りの飯田橋駅東口で、17時30分から抗議をしています。興味のある方は、ぜひご参加ください。

（かとう・のりこ/Stop! 辺野古埋め立てキャンペーン）

社前の抗議以外に、各企業に交渉に行ったりもしています。最初に調査を請け負った中央開発にも行きました。大成建設も最初数回、東洋建設や大林組も1回だけ話を聞く時間を取ってくれました。ど

〈辺野古新基地建設事業埋立本体工事・契約企業〉	
①中仕切岸壁新設工事 222.2 億円 打切り	【共同企業体】大成建設・若築建設・国場組
②汚濁防止膜等工事 12.5 億円	【共同企業体】大成建設・東洋建設
③中仕切護岸新設工事（1 工区）2.9 億円 打切り 仲本工業	
④中仕切護岸新設工事（2 工区）休止中 仲程土建	
⑤傾斜堤護岸（K-9 護岸） 9.8 億円 ※途中まで施工	【共同企業体】東洋建設・株木建設・丸政工務店
⑥二重締切護岸（A 護岸） 93.6 億円 打切り	【共同企業体】前田建設工業・大本組・太名嘉組
⑦ケーソン新設工事（1 工区）207.1 億円 打切り	【共同企業体】五洋建設・清水建設・みらい建設工業
⑧ケーソン新設工事（2 工区）25.4 億円 打切り	【共同企業体】東亜建設工業・本間組・大城組
⑨傾斜堤護岸（1 工区 K-3・K-4 護岸） 39.9 億円	【共同企業体】戸田建設・不動テトラ・仲本工業
⑩傾斜堤護岸（2 工区 N-3・N-5 護岸） 41.2 億円	【共同企業体】東洋建設・飛鳥建設・丸政工務店
⑪傾斜堤護岸（3 工区 N-4・K-8 護岸） 43.5 億円	【共同企業体】鹿島建設・東亜建設・東開発

〈埋め立て工事 受注企業と契約金額〉	
1 工区：大成建設・五洋建設・国場組 JV	150 億 4692 万円
2 工区：安藤ハザマ・大豊建設・大木建設 JV	107 億 2952 万円
3 工区：大林組・東洋建設・屋部土建 JV	130 億 8299 万円
4 工区：丸政工務店	5 億 9940 万円
5 工区：北勝建設・東建設 JV	5 億 1094 万 8 千円

